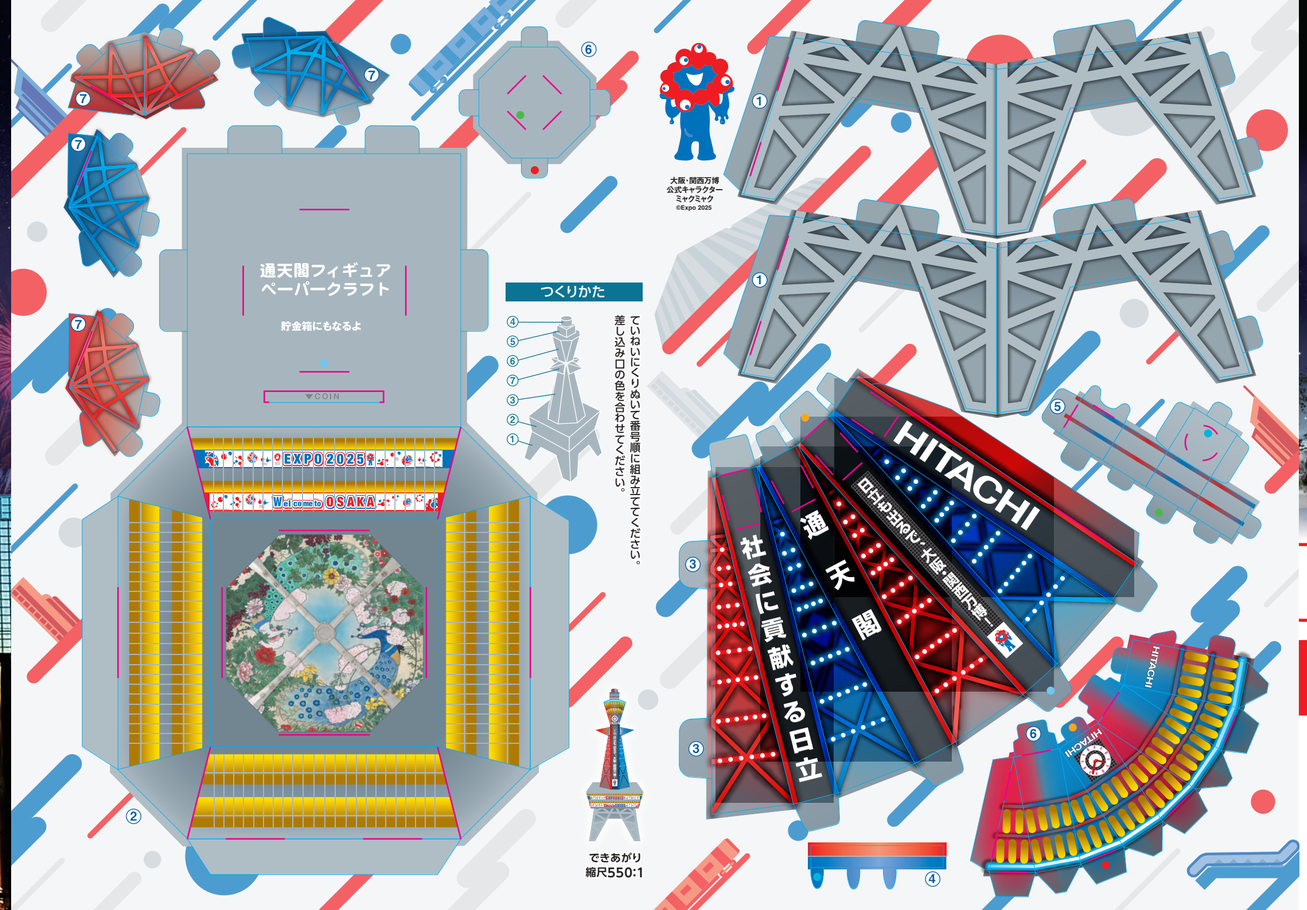
通天閣公式ガイド

EXPO 2025 大阪・関西万博

通天閣（つうてんかく）

Since 1956

通天閣に関するお問い合わせは…
通天閣観光株式会社 ☎06-6641-9555



©Expo 2025

未来の発明

「未来の都市」パビリオン

日立グループは、大阪・関西万博の未来社会ショーケース事業
「フューチャーライフ万博・未来の都市」のプラチナパートナーとして
「Society 5.0と未来の都市」をテーマにKDDIと共同展示を行います

万博で待ってるよ！

大阪・関西万博開催期間
2025年4月13日（日）
→10月13日（月）

大阪・関西万博
公式キャラクター
ミャクミャク
©Expo 2025

詳しくはこちら
日立製作所「未来の都市」
Webサイト

通天閣からスグ行ける！

中央線の400系車両は日立が造っているんです！

開催場所　大阪 夢洲

アクセス（通天閣から）

電車（約35分）　Osaka Metro 堺筋線 恵美須町 →（乗り換え） Osaka Metro 中央線 堺筋本町 → 夢洲

バス（約45分）　万博シャトルバス 近鉄大阪阿部野橋駅（あべのハルカス前）
近鉄バスのりばから万博会場（夢洲第1交通ターミナル）直通

OSAKA, KANSAI, JAPAN EXPO 2025 | HITACHI

PLATINUM PARTNER

日立グループは、大阪・関西万博の未来社会ショーケース「未来の都市」プラチナパートナーです。
Hitachi Group is a Platinum Partner of the "Future City" at Expo 2025 Osaka, Kansai, Japan

ハッケン！未来の都市・日立

万博ニュース

日立製作所が協賛し、KDDIと共同展示する「未来の都市」パビリオン

大阪・関西万博 公式キャラクター ミャクミャク ©Expo 2025

見どころ4選

1 2035年とその先の未来へ

未来に触れる！

未来の街ってどんなもの？未来の乗り物はどんな見た目？想像がふくらむさまざまな先端技術を、家族みんなで体感してください。10年後、現実になっているモノもあるかも！

2 全長150m 巨大パビリオン

通天閣の高さよりも長い！

「未来の都市」は全長約150m、展示面積は約3,300㎡。会場内でも大規模なパビリオンです。

3 15のアトラクション

目移りしちゃう！

12の企業や団体と博覧会協会が一緒につくるパビリオン。見て触って楽しい体験が盛りだくさんです。

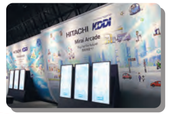
4 日立・KDDI共同展示のテーマは「未来は自分たちで変えられる」

みんなで一緒に考える、創り出す

Mirai Arcade

ボールを投げるゲームで未来体験！

大型タッチパネルを使って、小さなお子様も体を動かして楽しめるアトラクションです。



Mirai Theater

120人が生み出す物語

大型スクリーンがあるシアター施設。2035年の未来をのぞき、スマホやタブレットで課題解決に参加!メタバース上でも同じ体験ができます。

ここだけでは語りきれない魅力！詳しくはコチラ

「未来の都市」公式Webサイト

日立製作所「未来の都市」

R5F 特別屋外展望台 天望パラダイス 94.5m 別途料金

5Fのインフォメーションカウンターで受付（別途料金）をしたら、階段を登って屋外展望台へ。周囲に眺望を遮る物がなく、四季の風をまともに受けながら、スリルと感動が味わえる天望観覧を存分に楽しめるで〜。貸切にして愛の告白やプロポーズの場所にするのもええと思うて♥また、跳ね出し展望台「TIP THE TSUTENKAKU」もあるで!先端部分がシースルーフロア（12㎡）になっとって「まるで空中浮遊してるみたいやわ〜♪」って大人気ですわ〜。

5F 黄金の展望台 87.5m

豊臣秀吉の黄金の茶室に負けじと装飾した黄金の展望台。大阪市街を一望できる「大都会の空中オアシス」と大評判なんやで。ビリケン神殿にふさわしい金髪の3代目ビリケン像にも是非、会ってちょうだいやぁ〜。

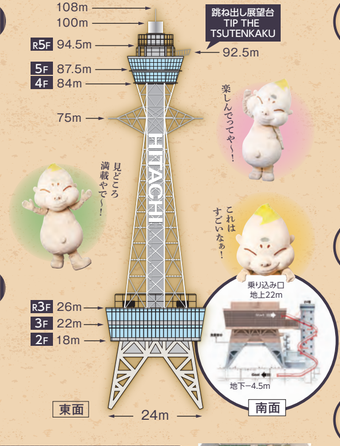
ビリケン　毘沙門天　吉祥天　寿老人　布袋　弁財天　大黒天　恵比寿

4F 光の展望台 84m

大阪人はなぜか"ヒカリモノ"が大好きなんや〜。4階「光の展望台」は夜になると派手な照明とミラーボールで超ノリノリのディスコフィーバーな展望台へと早変わり。大阪の街を元気にしたいというみなさんの思いを、是非この展望台でガンガンに共有してみたらどないやろう〜。

R3F DIVE&WALK 26m 別途料金

中間展望台屋上（地上26m）をアスレチック体験しながら一周した後は、地上40メートルからのスリル満点のダイブ！新世界の街並みを見下ろしながらのダイブは、たまったストレスを"ぶっ"発散してくれるで〜。



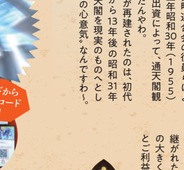
3F トップフロア 22m

ここは見応え充分の常設展示エリア。博物館にも負けまへん！約100年前の「新世界」「通天閣」「ルナパーク（1912年開業）」のジオラマや映像、当時の写真などを展示。その他グリコの歴史や、通天閣とグリコのコラボヒストリー、ポッキーの開発秘話などのパネル展示もあるで。

グリコの歴史

ジオラマ展示

3F 2F TOWER SLIDER 22m 別途料金



2階から3階へ行く螺旋階段を上がると、ジャーン!!どやー!!新体験型アトラクション「TOWER SLIDER」の入口やで〜。地上22mからEV塔の外周を周りながら地下1階（地上−4.5m）まで、約10秒で一気に滑り降りる（斜度約30度）全長60mの体感系滑り台。スロープ部分は耐候性に優れたステンレス製チューブの天井に、透明の遮熱ポリカーボネート板を使用。さぁ、通天閣を見上げながら滑って滑って滑りなはれ〜!!

2F アンダーフロア 18m

円形エレベーターで2階に来たら展望エレベーターで展望台へ。色々おもろいもん有揃った「ヂャンヂャン町」や大阪出身の"キン肉マン"の作者ゆでたまご氏が新世界の活性化の為にと協力してくれはった「キン肉マンプロジェクトアーカイブコーナー」があるで〜。

オフィシャルショップ

ヂャンヂャン町

キン肉マンプロジェクト アーカイブコーナー

B1F 通天閣 わくわくランド 入場無料

B1Fには関西にゆかりのある大手食品メーカーのアンテナショップが集結した「通天閣わくわくランド」がオープンしてるで！連日大盛況や〜！ほんで通天閣わくわくランドの横には、通天閣の展望台へ行けるチケット売場があんねん。先に5階「黄金の展望台」に行ってもエエで〜!!でも帰りには「わくわくランド」へ寄っておみやげ買ってってや〜!!

1F 初代通天閣 復刻大天井画

まずは通天閣の下にある大天井画を見ていってや〜。ほんならそばに「通天閣展望台入口」があるから階段を使って入るんやで〜。

大天井画

通天閣観光株式会社

大阪市浪速区恵美須東1-18-6

TEL.06-6641-9555 FAX.06-6641-9559

【公式サイト】www.tsutenkaku.co.jp

最寄駅からの所要時間

- Osaka Metro 堺筋線 恵美須町駅……徒歩約3分
- 阪堺電車 阪堺線 恵美須町駅……徒歩約3分
- Osaka Metro 御堂筋線 動物園前駅……徒歩約6分
- JR環状線 新今宮駅……徒歩約6分
- 南海電車 南海本線 新今宮駅……徒歩約10分

Osaka Metro 御堂筋線主要駅からの所要時間

- 新大阪駅より……約30分
- 梅田駅より……約25分
- なんば駅より……約15分
- 天王寺駅より……約12分

お車でお越しの場合は

- 上り線：阪神1号環状線 なんば出口より車約7分
- 下り線：阪神1号環状線 夕陽丘出口より車約5分

ミニゲーム 通天閣を探せ！

このガイドブックの表紙の中に通天閣は何基隠れているかな？正解は、右記のQRコードより通天閣オフィシャルサイトへ!!

Gookulu MAP グークゥプル

通天閣周辺も見どころ満載！

大阪人の心のシンボル

いつまでも変わらない大切なものがある

大阪の心、浪速文化の誇り「通天閣」。「キタ」「ミナミ」に並ぶ、この「どミナミ」である新世界は時代に応じて、その町を形成する店や客層とともに変化しながら歩んでいます。

大阪の心を感じることができる新世界は、ただの塔ではなく、大阪人のシンボルでもあり「誇り」なのです。

なにわの心意気 通天閣の今と昔

明治36年（1903）に開催された第5回内国勧業博覧会の会場跡地に、ナパーク（ミナミに並ぶ、この「どミナミ」である新世界は時代に応じて、その町を形成する店や客層とともに変化しながら歩んでいます。

大阪の心を感じることができる新世界は、ただの塔ではなく、大阪人のシンボルでもあり「誇り」なのです。

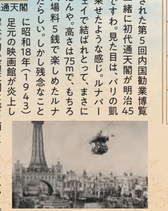
2代目通天閣

初代通天閣

明治36年（1903）に開催された第5回内国勧業博覧会の会場跡地に、ナパークと一緒に初代通天閣が明治45年（1912）に建てられたんやわ。見た目はパリの凱旋門にエッフェル塔の土台を乗せたような感じのルナパークとこの通天閣は赤いロープウェイで結ばれとって、まさに「新世界」として人々を魅了したんや。高さは75mでもちろんその当時の日本一やで！入場料5銭で楽しめたルナパークのはもちろん大阪おいやったらいしいしがし残念なことに昭和18年（1943）解体。初代通天閣は姿を消してもたんや…。

その後、通天閣が消えて寂しくなった新世界を復興したいとの地元の声をきっかけに、昭和29年（1954）新世界町通会会の役員らにより創立事務所を設置、翌年昭和30年（1955）には地元の人々からの出資によって、通天閣観光株式会社が設立されたんやわ。

現在の2代目通天閣が再建されたのは、初代通天閣が姿を消してから13年後の昭和31年（1956）。2代目通天閣を現実のものとしたのはまさしく、なにわの心意気、なんですわ。



通天閣とルナパーク

通天閣に歴史ありやなぁ…

知ってまっか？通天閣のあれこれ

3代目ビリケン像

ビリケン像は通天閣の守り神

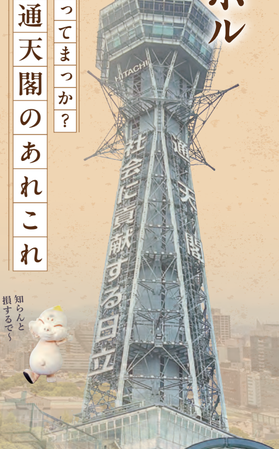
幸運の神様として"通天閣を支えてきた守り神"ビリケン像。1908年、アメリカの女性芸術家フローレンス・プリッシが"夢の中で見た精霊"をモデルに制作したものやその当時世界的に大流行した縁起の良い神様として伝わりそのスピリットが通天閣建設から100周年を迎えた2012年からは、2代目ビリケン像は展望台での御座の役目を終え、3代目ビリケン像へと引き継がれたんですわ。また、ビリケン像の大きく突き出した足の裏は、撫でると"ご利益"があると言われているんやで。

通天閣と東京タワーは兄弟なんやで

2代目通天閣の設計者である内藤多仲は、あの"東京タワー"も設計しとるんですわ。先に通天閣ができたから東京タワーは弟なんて言われてるけれど、どちらもかわいい兄弟が誕生なんやで。

乗り比べてみよう！展望エレベーター

2台ある展望エレベーターは、どちらも日立製で、日立の先進のメンテンスシステムによって常に守られとるんですわ。ほんで、それぞれのエレベーターは天井の絵柄が違うねん。「金のエレベーター」は通天閣に浮かぶビリケンさん、「銀のエレベーター」は通天閣に浮かぶビリケン像にのったら天井も見てやぁ。

銀のエレベーター

金のエレベーター